

## 2024年度第2回情報教育研究委員会データサイエンス分科会議事概要

I. 日 時：令和6年7月2日（火）17：00～18：00

II. 場 所：Zoom 会議室

III. 出席者：渡辺主査、松尾委員、今泉委員、後藤委員、大原トババ伊、辻トババ伊  
(事務局) 井端事務局長、野本

### IV. 議事内容

#### 1. リテラシーレベル、応用基礎教育レベルのワークショップ実施について

教育イノベーション大会2日目の分科会Hにて、ワークショップを実施する内容を確認した。

- ・ 9月5日（木）教育イノベーション大会の14：20～16：00で分科会としてワークショップを開催することを確認し、説明70～80分と意見交換20～30分の構成で、事例説明、司会進行、司会補助を分担することにし、当日の対応スケジュールを調整することにした。
- ・ オンデマンドでBIツールとMoodle Forumを組み合わせた授業での課題として、学生の積極的な参加、学生同士の意見交換、ビッグデータの取扱い、PC性能に依存しないことを目指して、2023年に15回のAI+BIツールの取り組み事例を中心に紹介を考えている。
- ・ 開催要項の概要には、モデルカリキュラムが2月に改訂され、生成AIの他にデータを扱う解析にBIツールがとりあげられたことからBIツールを学ぶ必要性と、ビッグデータ利用の情報分析と学生同士のインタラクティブ授業を紹介することを記述することにした。
- ・ BIツールは、ヤフー・データソリューションのDS.INSIGHTでの特定のキーワードを検索しているユーザーの興味関心を分析に利用している。活用の例と学生の感想紹介を予定している。
- ・ ワークショップの意見交換では、評価と理解度の考察を質疑のところでは提示してはどうか。
- ・ DS.INSIGHTの利用は、100名単位で50万程度の費用が必要で、無料枠では限定され授業利用には適さない。各大学での利用の場合は、最初から有料の場合は、ハードルが高いと考えられる。
- ・ BIツールとしては、ExploratoryをAcademicライセンスで利用しており、模擬データセットを用意して授業を進めている。この内容は、質疑の時間で紹介することにした。
- ・ 学生は、Tableauをアカデミックライセンスで普通に使っている。
- ・ 実際のデータは、学生が興味を持てるが、例えば医療などのデータは入手が困難で利用が難しい。

### V. 今後のスケジュール

教育イノベーション大会2日目テーマ別意見交流の分科会Hで、「データサイエンス授業でのビッグデータ利用によるBI(ビジネスインテリジェンス)ツール利用の実践例」として、データサイエンス・AI授業のワークショップを開催することになっている。